

全木連時報

1月30日(水曜日)

(第654号)

平成25年(2013年)

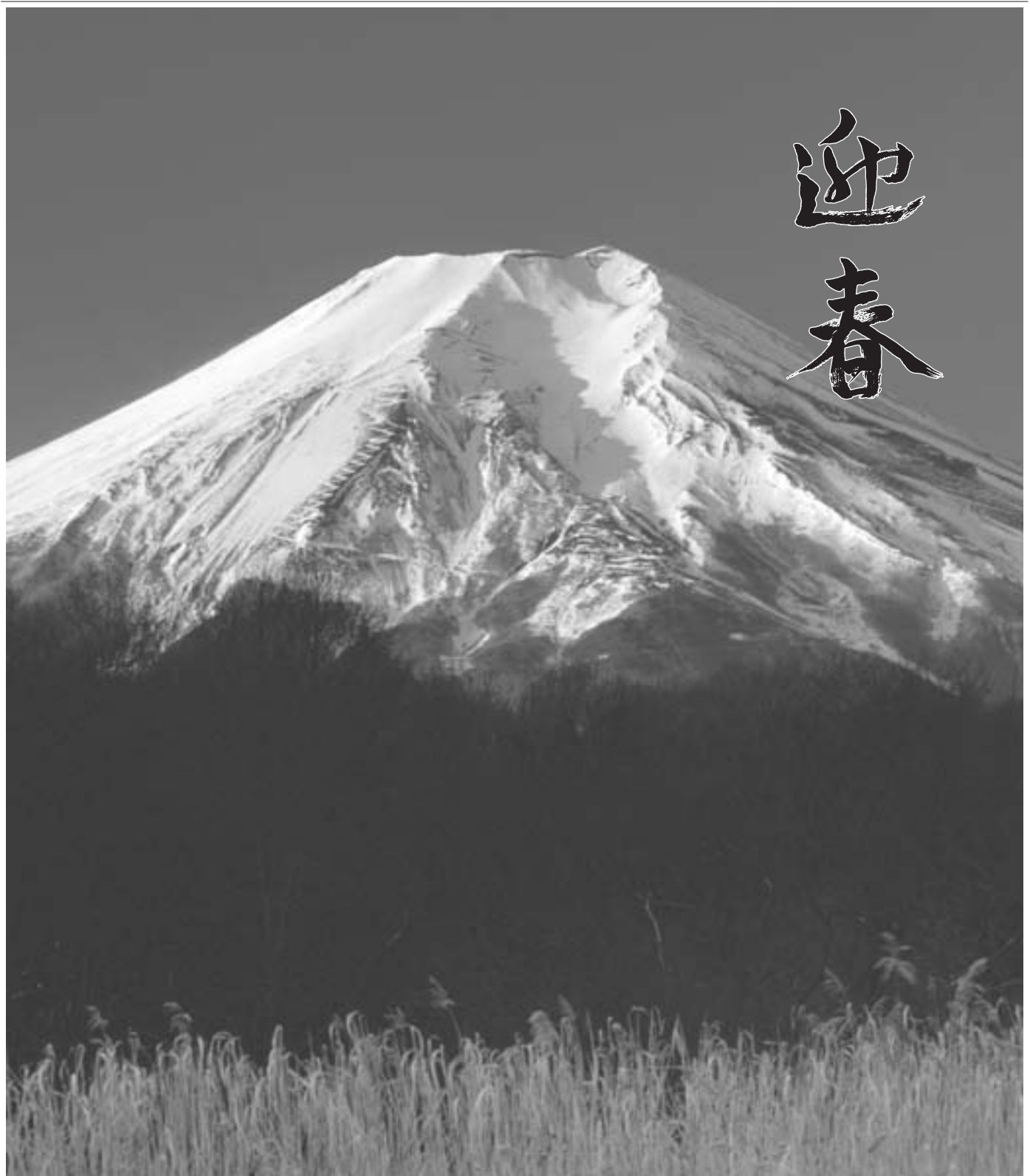


木材産業シンボルマーク

発行所

社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580) 3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



年頭のご挨拶

緊急経済対策・木材利用拡大に期待

社団法人全国木材組合連合会

会長 吉条 良明



新年あけましておめでとうございます。皆様方には本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の我が国の経済情勢は、東日本大震災の影響による厳しい状況の中で緩やかな持ち直しがみられたものの、世界経済の減速、円高・デフレ等により景気回復の足踏後退と不安定な状況が続きました。木材業界につきましては、木材価格が円高等の影響を受けて特に国産材を中心として下落・低迷し、住宅着工戸数は一昨年に比べて増加したものの本格的回復には至らず、依然として明るい兆しを見出し難い一年でありました。このような中で、年末には総選

挙が行われて政権交替がありました。新政権はデフレと円高からの脱却による日本経済の再生そして大震災・原発事故の早期復興など大胆な政策展開を始めています。現下の木材業界の緊急かつ最大の課題は、何よりも木材需要の回復・拡大であります。第四十七回全国木材産業振興大会(十月;宮崎市)では「新たな木材利用への挑戦で木材産業の創造的再興」と「くらし、街づくりに森林のめぐみを活かそう」をスローガンとして掲げて、住生活空間、商工業施設など多様な分野における木材・国産材利用の大幅拡大、住宅・木製品等にポイント付与など新たな需要拡大対策及び木造の公共建築促進対策拡充の実現、さらに木質バイオマス発電利用促進などの宣言決議を行ったところであります。全木連は年度当初から木材価格の下落や木材需要拡大のための対策について施策充実の取組みを進め、さらに「宣言決議」の実現に向けて関係方面に対する要請や業界の自主的取組みの強化を図ったところであります。

緊急経済対策(補正予算)が閣議決定されました。林業・木材産業関連では木材利用促進等の川下対策が重要施策とされ、強い林業・木材産業構築緊急対策九百二十四億円(基金方式等による木造公共施設、加工流通施設等の支援、原木需給情報システムの構築等支援、地域材活用促進支援事業四百十億円(木材利用ポイント付与等の取組支援、林業金融対策(利子助成)などが要求されています。木材業界が熱望していた具体的対策が大幅に盛り込まれており、関係機関には感謝申し上げる次第であります。平成二十五年度予算案については、一月末には明らかになるとのことですが、意欲的なこれら対策の早期の実現と効果的実施により、今年こそ景気好転、木材需要の進展、業界の景況回復が進むことを強く念願する次第であります。「森林・林業再生プラン」が策定されてから三年になります。この間、その実現に向けて公共建築物等木材利用促進法制度創設、新

たな基軸の木造住宅対策展開、再生可能エネルギー特措法創設などの施策が鋭意進められています。多くの関係機関、木材関係者のご尽力により、人々の木材・国産材利用の関心は着実に高まってきています。木材業界は、木材利用の新たな枠組み構築、実需拡大のための自主的活動を深化し、行政機関、建築・設計関係者、ユーザーの皆さんとの連携を密にするとともに、品質・性能の明確なJAS製品、合法木材・乾燥材を安定的に供給できる体制を着実に整えていくことが必要不可欠であります。全木連といたしましても、これらの取組みの推進、課題解決に全力を挙げて取り組んでいく考えであります。本年が、木材産業の再興に向けて飛躍の年になるよう、そして皆様方にとって良い年でありますようご祈念申し上げます、さらに皆様方の引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

補正予算等に要望

全木連

全木連は、年末の総選挙による政権交代それによる予算検討という時期をとらえ十二月二十七日、自民党ほか関係先に、政府補正予算・来年度予算について要請した。要望のポイントは、①景気対策の実現②木材国産材利用の拡充③地域材利用促進のための住宅木製品等にポイント付与④間伐材未利用材の木質バイオマス発電利用促進・木材の新規利用分野開拓・技術開発・生産加工体制の確立。

企業経営に安心を提供します
全木連グループの各種保障制度
 おかげさまで35年
 中型グループ

などの備えに ケガ・病氣入院	従業員のために 中型グループ	総額賠償補償制度 第三者への事故対策に
	経営者のために 総合保障プラン	任意労災保障制度 労働災害への対策に
		木退共 従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会
 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
 TEL 03-3580-3215(代)

様々な分野での木材利用拡大を

全国木材協同組合連合会

会長 坂東正一郎



新年おめでとございます。年頭に当たり一言ごあいさつ申し上げます。皆様には旧年中、本会の業務運営に温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の我が国の経済につきましては、前半は震災復旧・復興関連もあって回復に向かっていきましたが、後半にかけて海外の景気減速等の余波を受けて厳しい状況下にあります。木材需要の大半を占める住宅の着工数は、穏やかな持ち直しの動きが出てきているようですが、雇用や所得環境により、その大きな伸びは見られない中、木材業界は厳しい状況が続きました。

当連合会は、昨年の春以降の円高、需給のミスマッチなどにより、

主として西日本における木材価格が下落したため、需要拡大対策を中心に関係方面に要請を重ね、そして、昨年十月には宮崎で、全国木材産業振興大会を開催し、「新たな木材利用への挑戦で、木材産業の創造的再興―くらし、街づくり―に森林の恵みを活かそう」のスローガンの下に、全国から八百名の関係者が集まり木材利用の拡大を訴え施策の拡充等についての取組みを強化したところであります。

そのような中で、年末の総選挙により政権の交替がありました。我が国で喫緊の課題である「デフレ、円高からの脱却」のための政策の展開が鋭意進められています。一月十五日に閣議決定された緊急経済対策(補正予算)には、基金方式等による木造公共施設、加工流通施設等の支援、原木需給情報システムの構築等支援、木材利用ポイント付与等の取組支援さらに林業金融対策(利子助成)などが大きく盛り込まれています。木材業界にとって重要な課題は木材利用の拡大であり、そのことが反映された川下対策にかなり力を入れた予算案となっています。今後、決定される平成二十五年度予算案も

含め施策の早期の実現・実施により、木材利用が進み業界が好転していくことを強く念願する次第であります。

木材需要につきましては、その大宗を担ってきた住宅部門が少子化などの影響で多くの新設を望み難くなっている中で、公共建築物・商工業施設などの木造化、木材利用が大きく進展していくことが不可欠です。そのため、様々な分野における木材利用の提案など自主的活動の展開、公共建築物等木材利用促進法や再生可能エネルギー電力調達法制度などの制度等の積極的な活用などにより、具体的に木材利用拡大が前進するよう一層の活動強化に取り組んでいく必要があります。加えて、ユーザーから求められる安全・安心、品質・性能の明確な木材製品、これの供給体制をしっかりと構築していくことは欠かせません。当連合会としましては、それにお役にたてるよう、今後とも木材加工施設の導入に当たっての利子助成やリースの支援、高性能林業機械のリースの支援などの実施に効果的かつ積極的に取り組むとともに、共同事業・共済事業につきましても皆様のご支援、ご理解の下に、その着実な推進・実行に取り組むこととさせていただきます。

本年が皆様にとりまして、明るい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

活かして使おう国産材をテーマに 木材フェアを開催

全木連は、十二月十三日から十日に東京国際展示場で開催された「エコプロダクツ2012」の会場内において、一般消費者を対象に、「活かして使おう国産材」をテーマとした国産材の普及推進活動の一環としてフェアを開催した。多くの方に、木とのふれあい、ぬくもりを体感いただくとともに、木材製品が炭素を固定した再生産可能な循環型資材であることを理解いただいた。



景況調査

(平成二十四年十二月分概詳)

十二月は、販売量については、流通部門では前月より増加し、製造部門では変わらなかった。仕入量については、流通・製造部門とも増加した。年内は九月以降、比較的堅調な動きが続いた。また、販売価格については流通・製造部門とも変わらず、仕入価格については、流通・製造部門とも上昇した。

一月は、販売量については、流通部門では変わらず、製造部門では減少の見通しである。仕入量については、流通・製造部門とも前月と変わらずの見通しである。また、販売価格については流通・製造部門とも変わらずの見通し。仕入価格については、流通・製造部門とも上昇の見通しである。

三ヵ月後の相場予想については、米材、北洋材(欧州材を含む)は、流通・製造部門とも強含み予想である。南洋材、国産材は、流通部門では保ち合い予想、製造部門では強含み予想である。

景況調査の結果では、九月以降、流通部門、製造部門を通じ、堅調な動きが見られた。ここ数年来なことも同様である。

は強含み予想である。また、建材は保ち合い予想である。プレカットの動向については、流通部門、製造部門を通じさらに繁忙が見られた。

プレカットを中心に
堅調な動き

景況調査

24年12月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数94 回答数54 回収率57%

当月の状況

販売量	増加41% (22)	変わらず46% (25)	減少13% (7)
仕入量	増加43% (23)	変わらず44% (24)	減少13% (7)
販売価格	上昇13% (7)	変わらず85% (46)	下降2% (1)
仕入価格	上昇30% (16)	変わらず68% (36)	下降2% (1)

来月の見通し

販売量	増加33% (18)	変わらず34% (18)	減少33% (18)
仕入量	増加26% (14)	変わらず44% (24)	減少30% (16)
販売価格	上昇26% (14)	変わらず72% (39)	下降2% (1)
仕入価格	上昇40% (21)	変わらず60% (32)	下降0% (0)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	42% (18)	56% (24)	2% (1)
南洋材	20% (8)	75% (30)	5% (2)
北洋材(欧州材を含む)	47% (20)	53% (23)	0% (0)
国産材	20% (10)	74% (36)	6% (3)
建材	26% (11)	72% (30)	2% (1)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	50% (21)	36% (15)	14% (6)

〔製造部門〕

モニター数110 回答数66 回収率60%

当月の状況

販売量	増加29% (19)	変わらず49% (32)	減少22% (14)
仕入量	増加34% (22)	変わらず48% (31)	減少18% (12)
販売価格	上昇3% (2)	変わらず95% (62)	下降2% (1)
仕入価格	上昇28% (18)	変わらず67% (43)	下降5% (3)

来月の見通し

販売量	増加12% (8)	変わらず56% (36)	減少32% (21)
仕入量	増加18% (12)	変わらず59% (38)	減少23% (15)
販売価格	上昇14% (9)	変わらず83% (54)	下降3% (2)
仕入価格	上昇28% (18)	変わらず67% (44)	下降5% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	54% (15)	46% (13)	0% (0)
南洋材	55% (11)	45% (9)	0% (0)
北洋材(欧州材を含む)	70% (16)	30% (7)	0% (0)
国産材	26% (14)	61% (32)	13% (7)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	58% (7)	17% (2)	25% (3)

『東日本大震災復旧緊急保証』の
受け付けをしております。

東日本大震災により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。
一日も早い復旧と皆さまのご健康を心からお祈り申し上げます。

震災による復旧のための緊急保証として、他の資金とは別に基金から100%保証が受けられます。

- ◎ 地震・津波により直接罹災された方の復旧に必要な運転資金・設備資金
- ◎ 主要販売先などの罹災により間接的に被害を受けた方に係る資金繰り安定化のために必要な運転資金

詳しくは基金までお問い合わせ下さい

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585 FAX: 03(3294)5595 URL: <http://www.affcf.com>

